

A18a **ガンマ線バースト地上観測レビュー、及び、すばる望遠鏡による最新の成果**

小杉城治（国立天文台） すばる GRB 観測チーム

ガンマ線バーストの最初の光学対応天体が発見されてから7年が経過した。地上観測による光学対応天体の発見は、ガンマ線バーストコミュニティの裾野を大幅に広げると同時に、ガンマ線バースト天文学自体に革命をもたらした。この基調講演では、ガンマ線バーストの歴史を地上観測の立場から振り返り、多波長にわたる地上観測を通じてもたらされてきた一般的な理解、及び、バースト自身の描像について概説する。これまでの様々な観測手法がそれぞれバーストのどういう面を解明してきたのかを示し、将来の地上観測に対する要求をまとめる。

また、最近2年間に渡って HETE-II 衛星チームとの共同研究として進めてきたすばる望遠鏡を使った TOO (Target Opportunity Observation) について紹介し、得られた数々の成果 (GRB 011019, GRB 020305, GRB 020813, GRB 030329 など) の報告をおこなう。